

【第九十四号 二〇二二年 一〇月 五日発行】

福音の園だより

平成十八年度「高齢者雇用優良事業所協会会長賞」受賞

TBSラジオ『メイ』のきくきゅーニング』取材紹介

グループホーム・デイサービス介護保険事業者指定

350・0016 埼玉県川越市木野目一八七八番地一

特定非営利活動法人 福音の園・埼玉 事務局

☎ 049・230・1111 (FAX 230・1112)

福音の園・Gospel Garden®は有限会社シャロンの商標

開園8周年に寄せて

「愛の配慮」のふりがなを付けよう！

グループホーム 福音の園・川越 ホーム長 杉澤 卓巳
九年目を迎えても、開園当初から変わらず心掛けている一つが「ふくいんのその・かわごえ」とふりがなを忘れないようにしていることです。

この地域の皆さんが「ふくおんのその」と読んで（呼んで）おられるからです。



※※※※※※※※※※※※※※※※

『現代の家庭や社会における話し言葉の大半が「用足し言語」に終始している。言わなくても済むならなるべく言わずに済ませ、最低限の用足し言語で終わってしまい、人格と人格がぶつかり合うような対話が少なくなっている』(国語学者・森島久雄氏)。「用足し言語」常用により、肝心な人を理解する「読解力」が衰退してしまっただけとは言い過ぎでしょうか。

「他人の感情を理解するといったコミュニケーション能力が不足しているため、性格やしつけの問題とされてしまい、障がいが見過されることがある」は、脳機能障がいが原因とされる「広汎性発達障がい」病名説明文の一節です。この「他人の感情を理解する」というコミュニケーション能力の不足」は、障がい者と呼ばれる人たちだけの問題でしょうか。「私は正常だ」と自負する人たちにも、案外見受けられるのではないのでしょうか。

※※※※※※※※※※※※※※※※

本年一月、厳冬の札幌市で「四十代の姉妹・凍死」が報じられました。障がいを持つ妹を抱えた姉が過労から仕事に就けず生活が困窮。水道・ガス・電気 が止められた。TV報道番組から、面談記録には福祉の窓口に通話を運んでおられた。同じ管内で二年前「生活保護申請」したものの「受付拒否」され「餓死」事件発生。再発防止に努めていたとされ、窓口責任者は「申請すれば受理した」と説明。三回も窓口訪ね、聞き取り項目の「所持金千円、他」から察して「本人のSOSをキャッチ出来なかったのか。福祉を勉強した専門職のはず。体温の通じる窓口対応を欲しかった」と悔やみながら、批難でなく自戒しています。

一年前の「開園7周年記念月」本誌で、



『プロは「自立」と「自律」を見極める』と題して『漢字の「じりつ」には「自立」と「自律」がある』と記しました。あれから一年、「姉妹 孤立死」報道から「自立と自律の漢字には『ふりがな』が必須であると提言すべきだ」、そう心を突き動かされました。障がい者並びに高齢者福祉領域でいう「自立」とは「依存」の対極にある「自立」ではなく、「自律」という意味で使用されていると考えることが求めら

れています。それは、他者の決定で自分の生活が営まれる「他律」ではなく、主体的・自律的に自分が選び取る、という考え方に立っているからです。

「愛の配慮」というふりがなを付けて読めるようにしてあげること。読めたならそれから先、意味や内容はご本人が取捨選択していかれるのですから。

「愛の配慮」という点でこの国は「後進国」です。

※※※※※※※※※※※※※※※※

本年三月、「福祉の最前線で働く」六名が提言して編纂された『これからの福祉と教会 - 高齢化社会への備え』が出版された(発行・いのちのことば社 A5判 定価 1,050円)。本書に関わった一人として最終校正段階で全ページを一読。各著者により提言された福祉の心に接し、「愛の配慮が足りなかった。原稿を書くとはいえ、正確にはパソコンが勝手に漢字変換していた。読めそうにない漢字にはふりがなを付けるべきだった」と気付かされました。読めない漢字があり、尋ねた職場のスタッフからも読めなかった。「これからの福祉・これからの教会」という大きなテーマであっただけに自らの高慢と鈍感さを痛感し、出版社へ事前進言したという裏話もありました。

あるキリスト教会で、アンケートをとったところ、「敷居を低く」「新来者がリラククスできるような」「なじみのない宗教用語(礼拝用語)」などの課題が表出された。「すべての人に福音を！」と苦心される姿勢から、私もまた、福祉の現場から提言したい。

「福祉窓口の敷居を低く」「なじみのない福祉用語には平易な真心というふりがな付けた解説を！」と。

この国・この地域で、高齢者福祉を実践する上で、色々な意味から「心にふりがなは必須条件」です。9周年に向け、プロとしてさらに「心耕」したい。

来訪歓迎

御礼

視察

〇〇〇・〇〇〇様 (さいたま市)

慰問

木野すみれ会様 (川越市)

鮮魚 (鯛飯用)

〇〇〇〇様 (鴨川市)

